

# 東大和市立地適正化計画・地域公共交通計画に関するオープンハウス 実施概要（案）

## 1. 開催目的

市では、令和8年度末の策定を目指し、「立地適正化計画」と「地域公共交通計画」の検討を進めています。このたび、これまでの検討内容を中間報告としてまとめ、計画の基本方針等について、地域の皆さんの意見を伺うため、オープンハウス型説明会を開催しました。

## 2. 開催日時・会場

	令和8年				
	3月13日(金)	3月18日(水)	3月19日(木)	3月20日(金・祝)	
会場	東大和 リビングテラス	上北台駅	TAIRAYA 奈良橋店	LICOPA 東大和	市役所
時間	10:00~ 15:00	10:00~ 15:00	10:00~ 15:00	10:00~ 12:00	13:30~ 16:00

## 3. 開催概要

項目	内容
開催方法	開催期間中のご都合のよい時間にご来場いただき、会場に設置した立地適正化計画及び地域公共交通計画の検討内容に関するパネル（A1サイズ）をご覧いただきながら、職員等が来場者の質問にお答えするとともに、ご意見やご要望などをお伺いしました。
周知方法	チラシ、市報、市公式HP、市公式SNS、開催会場でのポスター掲示により周知しました。

## 4. 展示パネル及びアンケート

No.	内容
1	背景・目的
2	現状分析（人口動向等）
3	現状分析（公共交通）
4	現状分析（防災）
5	課題の整理
6	基本的な方針（案）と目指すべき年の骨格構造図（案）
7	誘導区域（案）及び誘導施設
8	誘導区域（案）及び誘導施設
9	地域公共交通計画の基本的な方針（案）と「公共交通」の定義
10	コンパクト・プラス・ネットワーク（案）
紙配布	来場者アンケート

# 5. パネルデザイン

### 背景・目的

#### コンパクト・プラス・ネットワーク

人口減少や少子高齢化が進むと、将来にわたって医療・福祉・商業等の生活サービスや公共交通サービスを維持することが難しくなります。持続可能なまちづくりを進めるため、生活サービス管理の統合と公共交通ネットワークの構築を一体的に取り組むことが、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方です。

#### 一体策定について：居住と移動の相乗効果

持続可能なまちを目指すうえで、土地利用に関する取組や公共交通に関する取組だけでは十分ではなく、それぞれが支えあう必要があります。まちづくりと公共交通が連携し、生活サービスなどを地域の拠点となるエリアに集め公共交通の利用を促すことで、暮らしの利便性とそれらを支える移動手段を将来にわたって維持し、地域に良い循環を生み出します。

#### 立地適正化計画とは

商業施設、医療・福祉施設などの生活に便利な施設が適切に立地するように誘導する計画です。

#### 地域公共交通計画とは

「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする「マスタープラン」としての役割を果たす計画です。

#### 計画期間

両計画の計画期間は18年とします。都市マスタープランの中間見直し等に合わせ設定等を検討します。

計画期間	都市マスタープラン(2024)	地域公共交通計画(2024)
計画期間	令和2年度～令和32年度(31年)	令和2年度～令和32年度(31年)
計画期間(2年)	第三期中間見直し(24～25)	第三期中間見直し(24～25)
計画期間(5年)	第五期中間見直し(29～33)	第五期中間見直し(29～33)
都市マスタープラン(2024)	都市マスタープラン(2024)	地域公共交通計画(2024)
立地適正化計画(2024)	立地適正化計画(2024)	地域公共交通計画(2024)
地域公共交通計画(2024)	地域公共交通計画(2024)	地域公共交通計画(2024)

パネルNo. 1  
背景・目的

### 現状分析

#### 人口動向

● 東大和市では令和7年から、人口が減少していくことが見込まれます。

● 令和以降は老年人口の割合が増え、平均年齢も上昇と見込まれ、少子高齢化の更なる進展が懸念されます。

#### 人口密度

令和2(2020)年時点 → 令和32(2050)年推計

● 地域によっては人口密度が低下していくことが見込まれ、お店などが少なくなることが予想されます。

● 人口密度が低下すると、サービスが受けにくくなる可能性があります。人口密度が低下するエリアにサービスが提供できず、暮らしの利便性が低下する可能性があります。

● 人口密度が低下すると、サービスが受けにくくなる可能性があります。人口密度が低下するエリアにサービスが提供できず、暮らしの利便性が低下する可能性があります。

パネルNo. 2  
現状分析  
(人口動向等)

### 現状分析

#### これまでの市の取組(公共交通)

##### コミュニティタクシー

● 公共交通の空白地域への対応として、地域と連携してコミュニティタクシーを運行しましたが、想定した利用客層に届かず未稼働には至りませんでした。

##### 都営バス(梅70系統)

● 東京駅と間橋駅が結ばれて運行を支えています。

##### コミュニティバス(ちよこバス)

● 都市圏周辺部、ルート変更やダイヤ改正などで利用客が増えるよう施策を推進してきましたが、継続的な対応が必要であり、運行が困難な路線も出てきています。ちよこバスのサービスもこれらに振り回れることとなりつつあります。

パネルNo. 3  
現状分析  
(公共交通)

### 現状分析

#### 防災

● 東大和市のハザードマップを見たことがありますか？

● 見たことある: ある

● 見たことない: ない

● 万一災害が発生した際に、どこへ避難すればよいかわかりますか？

● わかる: わかる

● わからない: わからない

パネルNo. 4  
現状分析  
(防災)

### 課題の整理

#### 都市構造上の課題

- 拠点部の都市機能の集約・集約による生活サービスの確保
- 拠点部と主要な基幹軸周辺の人口密度の維持
- 拠点部と主要な基幹軸周辺の人口密度の維持
- 拠点部と主要な基幹軸周辺の人口密度の維持

#### 公共交通の課題

● 人口減少に伴う利用者数の減少

● 運転士などの担い手の減少

● 公共交通の持続的運行が困難

● 公共交通は、まちづくりにかかせない大切な要素

● 持続可能な公共交通ネットワークの構築が必要

パネルNo. 5  
課題の整理

### 基本的な方針(案)と目指すべき都市の骨格構造図(案)

#### 基本的な方針(案)〈都市の将来像・施策の方向性〉

● 住みたい 住み続けたい 成長するまち

● 都市機能集約

● 居住誘導

● 公共交通

● 防災対策

● 市街地全体の機能の底上げを図る

#### 目指すべき都市の骨格構造図(案)

パネルNo. 6  
基本的な方針(案)と  
目指すべき都市の  
骨格構造図(案)



## 6. 会場の様子



令和8年3月13日（金） 東大和リビングテラス



令和8年3月18日（水） 上北台駅



令和8年3月19日（木） TAIRAYA奈良橋店





令和8年3月20日（金・祝） LICOPA東大和



令和8年3月20日（金・祝） 市役所

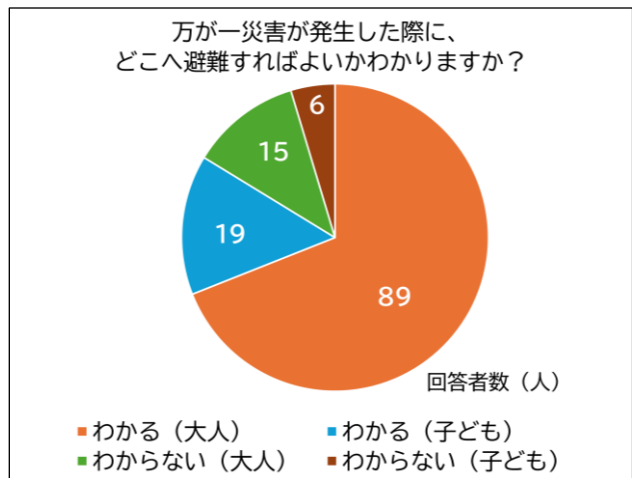
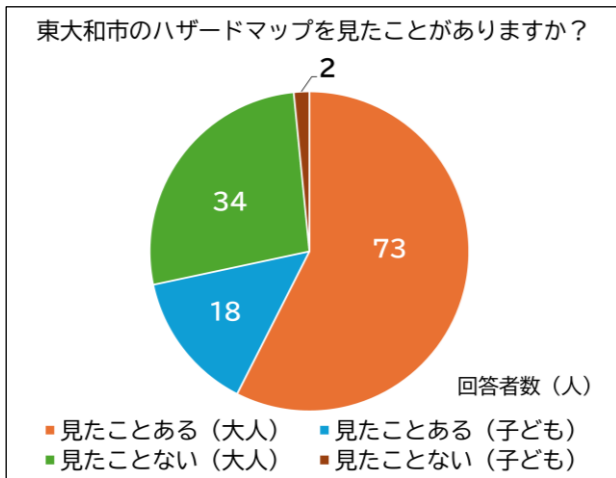
## 7. 来場者数及びアンケート回答者数

開催日	会場	来場者数(人)	アンケート回答者数(人)	
			パネルNo.4、8、9のアンケート回答者数(人)	来場者アンケート回答者数(人)
3月13日(金)	東大和リビングテラス	36	29	32
3月18日(水)	上北台駅	56	29	36
3月19日(木)	TAIRAYA奈良橋店	39	21	28
3月20日(金・祝)	LICOPA東大和	31	17	15
3月20日(金・祝)	市役所	39	39	15
合計		201	135	126

## 8. パネルアンケートの集計結果

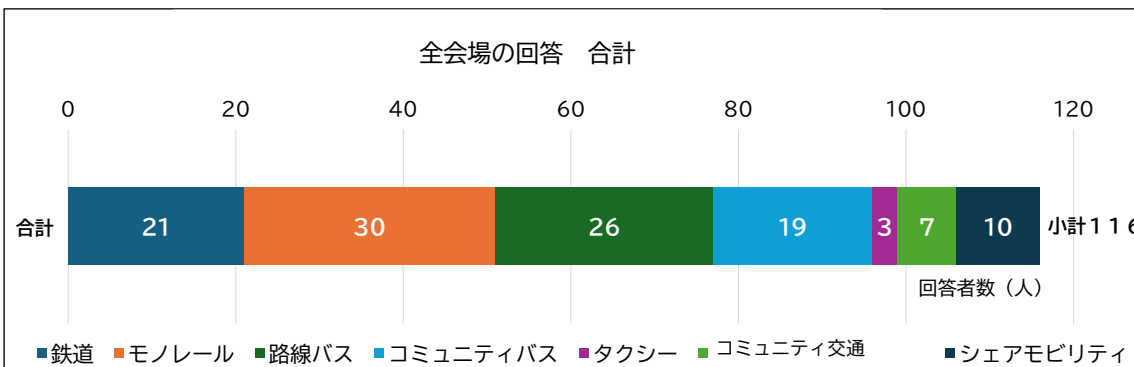
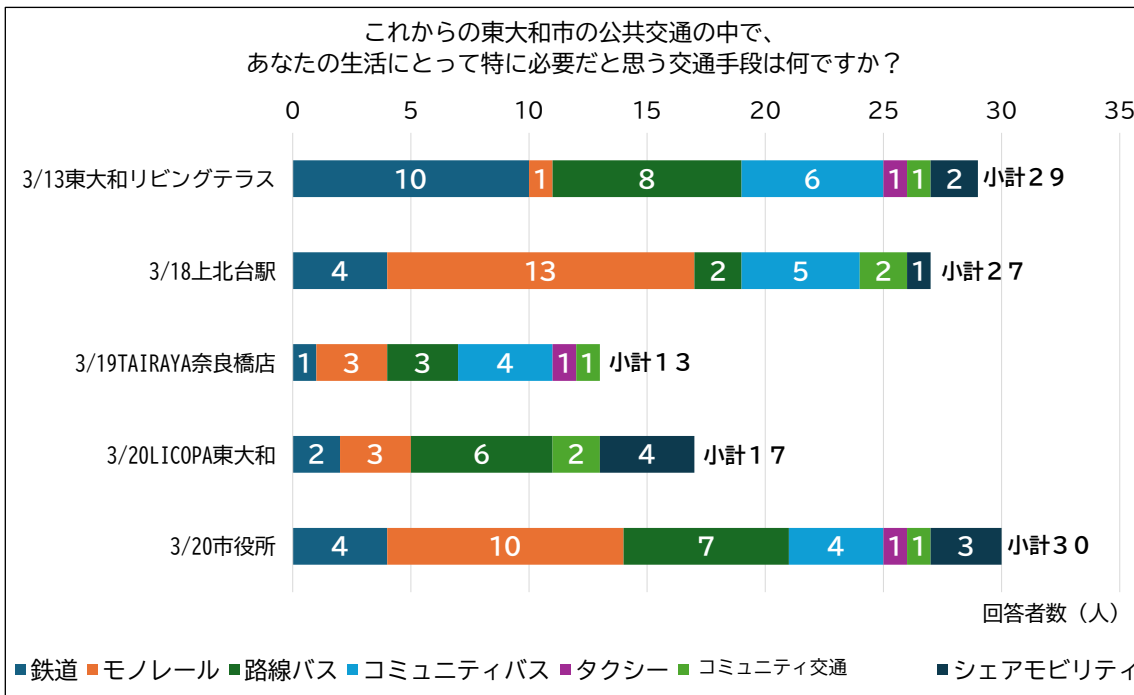
### 【防災について】

パネルNo. 4を用いて、東大和市のハザードマップ及び災害発生時の避難場所を認知しているか否かについて、来場者のご意見を伺いました。



### 【公共交通について】

パネルNo. 9を用いて、これからの東大和市の公共交通の中で、あなたの生活にとって特に必要だと思う交通手段について、来場者のご意見を伺いました。



## 9. 市内で引越したい場所に関する意見

### (1) 上北台、立野、桜が丘、南街

- ・通勤、通学で公共交通機関を利用しており、駅、バス停へのアクセス性が高いため
- ・日常生活に必要な施設（スーパー、病院等）が徒歩圏に立地しているため
- ・大型（複合）商業施設へ徒歩でアクセスできるため

### (2) 仲原、清水、清原

- ・日常生活に必要な施設（スーパー、コンビニ、郵便局、公園）が徒歩圏に立地しているため

### (3) 奈良橋

- ・緑地、公園など市域北部の豊かな自然環境を身近に感じられるため

### (4) 湖畔、芋窪、蔵敷

- ・緑地、公園など市域北部の豊かな自然環境を身近に感じられるため
- ・閑静な住宅地であるため

### (5) その他

- ・長年住み続けている地域で愛着があるため

## 10. 都市機能誘導区域において「あるとよい（ないと困る）施設」に関する意見

### (1) 東大和市駅周辺

あるとよい施設：スーパー、コンビニ、飲食店、喫茶店などの滞在型の施設、金融機関

### (2) 上北台駅周辺

あるとよい施設：衣料品店、ホームセンター、飲食店、喫茶店などの滞在型の施設

ないと困る施設：スーパー

### (3) 玉川上水駅周辺

あるとよい施設：娯楽施設、スポーツ施設

ないと困る施設：大型（複合）商業施設

### (4) 市役所周辺

あるとよい施設：子ども連れで利用できる公共空間、飲食店

ないと困る施設：図書館（読み聞かせスペース）

### (5) 武蔵大和駅周辺

あるとよい施設：スーパー、飲食店

ないと困る施設：コンビニ

### (6) 東京街道団地地区

あるとよい施設：医療施設、福祉施設

ないと困る施設：スーパー、ドラッグストア

### (7) 奈良橋交差点周辺

あるとよい施設：コンビニ、休憩スペース

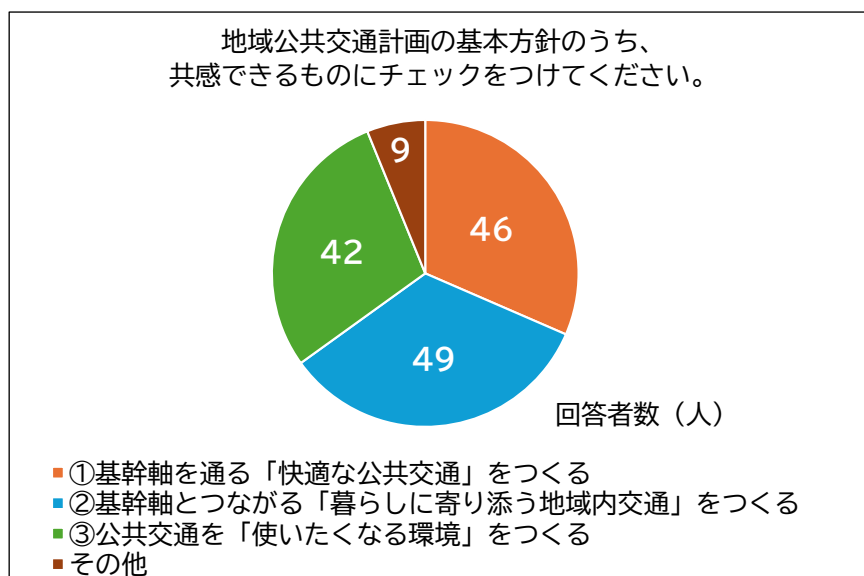
ないと困る施設：スーパー、ドラッグストア

## 11. 【来場者アンケート】の集計結果

### 【地域公共交通の基本方針に関して】

地域公共交通の基本方針①～③のうち、共感できるものについて、来場者のご意見を伺いました。

- ①基幹軸を通る「快適な公共交通」をつくる
- ②基幹軸とつながる「暮らしに寄り添う地域内交通」をつくる
- ③公共交通を「使いたくなる環境」をつくる
- その他



※上記の基本方針は、オープンハウス実施時点の案であり、この案に基づいて意見を伺いました。基本方針はその後の検討を踏まえ更新しています。そのため、本集計結果は、現在の基本的な方針に対する評価そのものではなく、当時の案に対する傾向を示す参考資料としてご覧ください。